

MOS-S640R

ハードウェアマニュアル

パッケージの内容	5
特長	6
各部の名称	6
セットアップのながれ	7
接続時の注意	8
SCSI ケーブルとコネクタ ターミネータ(終端抵抗) SCSI - ID システム全般	
SCSI - ID の設定	10
ターミネータ機能の設定	10
MOS の設置	10
縦置きにする場合 横置きにする場合 イルミネーションパーツの取り付け ACアダプタの取り付け	
パソコンとの接続のしかた	13
MOSだけを接続する 複数のSCSI機器を接続する	
MOSを積み重ねる場合	14
MOSの使いかた	15
使用時の注意 MOディスクの挿入 MOディスクの取り出し MOディスクが取り出せないとき MOディスクを書き込み禁止にするとき	
製品仕様	18

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク **△注意** に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク **▶次へ** に続くページは、次にどのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

・本製品を「MOS」と表記しています。

本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられています。

本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

本書では™、®、©などのマークは記載していません。

本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。

本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。また、本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記にかかわらず弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ・ 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
- ・ 一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。また弊社は、本製品に関して海外での保守および技術サポートは行っておりません。

本製品のうち、外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。

安全にお使いいただくために必ずお守りください



お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。

正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。







パソコンの故障/トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障/トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

	は、警告・注意を促す記号です。 の近くに具体的な警告内容（例：  感電注意）が描かれています。
	に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：  分解禁止）
	は、しなければならない行為を示す記号です。の近くに、具体的な指示内容（例：  プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告



強制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。



分解禁止

本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。
火災や感電の恐れがあります。



電源プラグを
抜く

本製品の取り付け/取り外しをするときは、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、電源プラグをACコンセントから抜いてください。

電源プラグがコンセントに接続されたまま、本製品およびSCSIケーブルの取り付け/取り外しを行うと、感電および故障の原因となります。



強制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする恐れがあります。



禁止

濡れた手で本製品に触れないでください。

電源プラグがACコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、ACコンセントに接続されていなくても本製品の故障の原因となります。



禁止

イジェクトピンは、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

本製品に付属するイジェクトピンは、小さなお子様の手の届かないところに置き、使用後は放置せずに直ちに片付けるようにしてください。目をついたり、飲み込んだりすると大変危険です。



電源プラグを
抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにパソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。



電源プラグを
抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、パソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。



水場での
使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電・故障する恐れがあります。



強制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。



禁止

レーザー光線を直視しないでください。

ディスク挿入口を開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。

本製品は内部で半導体レーザーを使用しています。レーザー光が目に入ると視覚に障害を及ぼす恐れがあります。

注意



禁止

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。



禁止

本製品の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。



禁止

シンナー・ベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品のよごれは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。



強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損させる恐れがあります。



強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱い、各マニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

パソコンおよび周辺機器の電源スイッチがONの状態、SCSIケーブルの抜き差しをしないでください。本製品および周辺機器の故障の原因となります。



強制

各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。

各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。



強制

本製品の取り付け/取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のデータをすべてバックアップ（MOディスク、フロッピーディスク等）を作成してください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。データが消失、破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。



禁止

ディスク挿入口に、MOディスク以外のものを挿入しないでください。

MOディスク以外のもの（フロッピーディスクなど）を挿入すると、故障や火災の原因となります。



禁止

MOディスクを入れたまま移動しないでください。

動作中やMOディスクを入れた状態で本製品を移動しないでください。

MOディスク、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は、必ずMOディスクを取り出し、電源スイッチをOFFにしてから行ってください。



禁止

MOディスクを途中まで入れた状態で放置しないでください。

本製品内部にほこりが入り、故障の原因となります。



禁止

ひびわれや変形、補修したMOディスクは使用しないでください。

本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。



強制

MOディスク内のデータおよびパソコン内のデータ（ハードディスク等）は、必ず他のメディア（フロッピーディスク、MOディスク等）にバックアップしてください。

とくに、修復・再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前・更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。以下のような場合に、データは消失・破損する恐れがあります。

- ・ 誤った使い方をしたとき
- ・ 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- ・ 故障、修理などのとき
- ・ パソコンの電源スイッチをOFFにした後、すぐに電源スイッチをONにしたとき
- ・ 天災による被害を受けたとき

上記の場合、またその他いかなる場合でも、データが消失・破損したことによる損害は、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。



禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- ・強い磁界が発生するところ
- ・静電気が発生するところ
- ・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
故障の原因となります。
- ・振動が発生するところ
けが、故障、破損の原因となります。
- ・平らでないところ
転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- ・直射日光が当たるところ
- ・火気の周辺、または熱気のこもるところ
故障や変形の原因となります。
- ・漏電または漏水の危険があるところ
故障や感電の原因となります。



注意

MOディスクは次の点に注意して大切にお使いください。

- ・MOディスクに、直接触れたりしないでください。
MOディスクのシャッターをあけて、ディスクに直接触れないでください。汚れたり、傷がつくとデータが読めなくなります。
- ・MOディスクを分解しないでください。
- ・衝撃を与えないでください。
- ・強い磁界が発生するところに置いたり、近づけたりしないでください。
データに悪影響をおよぼす場合があります。
- ・ほこりなどにさらさないでください。
- ・直射日光を当てないでください。
- ・MOディスクのクリーニングを行ってください。
MOディスクの表面に、ほこりやたばこの煙が付着し、MOディスクが正常に動作できなくなることがあります。市販のMOディスククリーニングキットを使って、定期的にクリーニングを行ってください。
- ・MOディスクにラベルを貼るときは、ラベルの貼付位置からはみださないように、しっかりと密着させて貼ってください。
ラベルの一部がはみだしたり、浮き上がっている状態でMOドライブに挿入すると、ラベルがドライブ内部で剝がれ、MOディスクが取り出せなくなることがあります。



禁止

市販のレンズクリーナーを使用しないでください。

市販のレンズクリーナーを使用すると、レンズ部に損傷を与える恐れがあります。レンズ部は、ほこりが入らない構造になっていますので、レンズのクリーニングは必要ありません。



禁止

アクセスランプが点灯している間は、パソコンの電源スイッチをOFFにしたり、システムをリセットしないでください。

データを消失・破損する恐れがあります。



強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

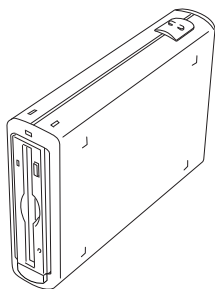
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

パッケージの内容

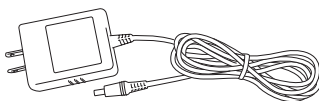
パッケージには次の物が梱包されています。万一、不足している物がありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

本書ではMOディスクドライブのみの製品のパッケージ内容を説明しています。SCSIインターフェースとのセット製品をお買い求めの場合のパッケージ内容は、別紙の「はじめにお読みください」を参照してください。

MOS(MOドライブ本体) 1台

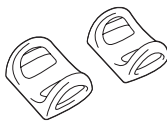


ACアダプタ 1個



縦置き用スタンド 2個

MOSを縦置きにするときに使用します。



スタックスペース 2個

MOSや同じ形の弊社製ドライブを積み重ねるときに使用します。



ゴム足 4個

MOSを横置きにするときに、底面のくぼみに貼り付けます。



SCSIケーブル(D-subハーフピッチ50ピン) 1本

イジェクトピン 1本



イルミネーションパーツ 2個

2色あります。MOSに取り付けます。



MOディスク(未フォーマット /640MB) 1枚

3.5型フロッピーディスク

「MOS/MOUシリーズユーティリティディスク」.. 1枚

Macintoshでは使用しません。

MOSシリーズ セットアップマニュアル 1冊

Macintoshでは使用しません。

ハードウェアマニュアル(本書) 1冊

保証書、ユーザー登録はがき 1枚

ユーザー登録はがきは保証書を切り離れた後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離れた保証書は大切に保管してください。

BUFFALOシール 1枚



別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

特長

ダイレクトオーバーライト方式(DOW)に対応
オーバーライト(OW)対応のMOディスクで、ダイレクトオー
バーライト方式による高速書き込みが可能です。

ダイレクトオーバーライト方式で書き込むために
は、MOディスクもダイレクトオーバーライト方式に
対応している必要があります。

ターミネータ機能内蔵

ターミネータ設定スイッチで、ターミネータ機能の有
効 / 無効を切り替えられます。

リアルキャッシュ搭載

「リアルキャッシュ *)」の搭載により、WindowsMe/
98/95でのMOディスクへの書き込み速度を大幅に
向上させました。

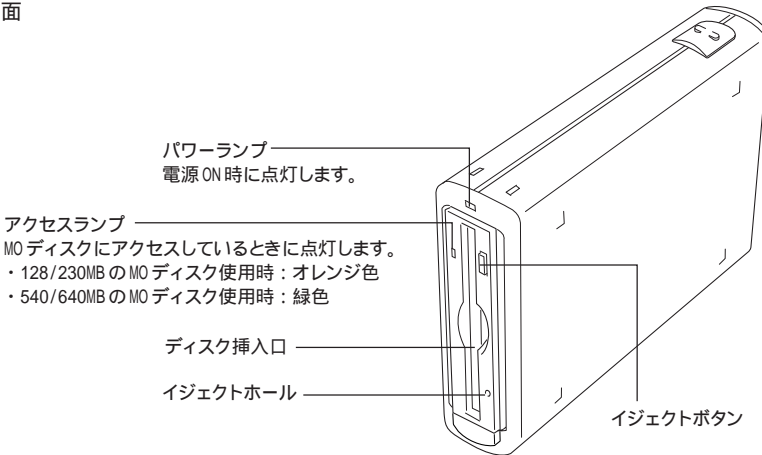
* 書き込みのアルゴリズムを最適化することで、
高速な書き込み処理を可能にします。

各種容量のMOディスクに対応

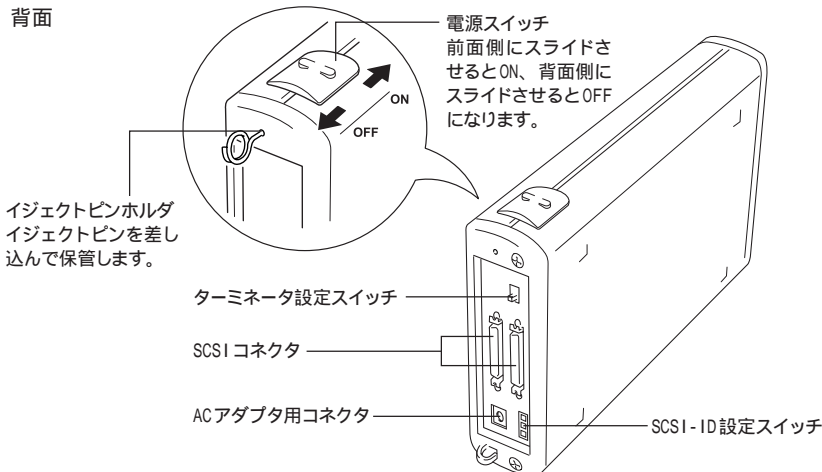
128/230/540/640MBのMOディスクに対応してい
ます。

各部の名称

前面



背面



セットアップのながれ

MOSのセットアップ手順は次のとおりです。

☑ **メモ** SCSIインターフェースとのセット製品をお買い求めの場合は、別紙の「はじめにお読みください」を参照してセットアップ手順を確認してください。

パソコン 周辺機器(MOSを含む)の順に
電源スイッチをOFFにする

MOSの設定をする

- ・ SCSI-IDの設定 【P10】
- ・ ターミネータ機能の設定 【P10】

MOSの置きかた(縦置き / 横置き)を決め、
MOSにACアダプタを接続する【P10】

本書(ハードウェアマニュアル)

MOSをパソコンに接続する(*1)

- ・ MOSだけを接続するとき 【P13】
- ・ 複数のSCSI機器を接続するとき ... 【P13】

周辺機器(MOS含む) パソコンの順に
電源スイッチをONにする

必要に応じてSCSIインターフェース(*2)または
パソコン本体の設定をする

パソコン、またはSCSIインターフェースのマニュアルを参照

- ・ Windows、DOS
付属のフロッピーディスクに収録されているユーティリティを必ずインストールしてください。
- ・ Mac OS、漢字Talk
弊社製接続キット(DCK-ADAP)に付属のフォーマッタ、または市販のフォーマッタを必ずインストールしてください。

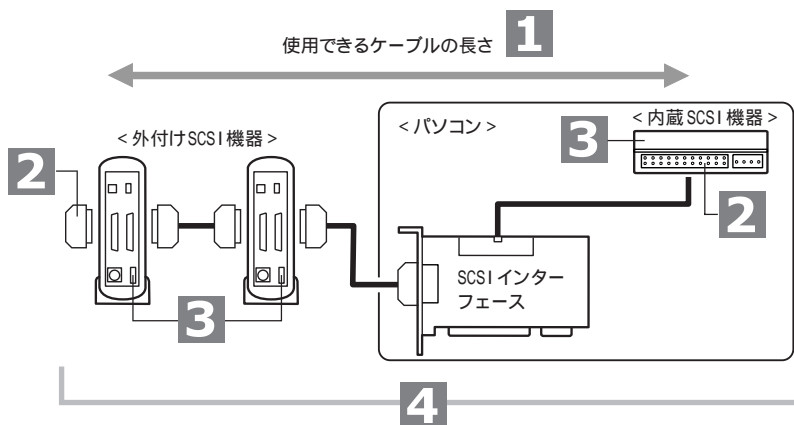
別冊「MOSシリーズセットアップマニュアル」参照

*1 Macintoshを使用している場合は、取り付けに弊社製接続キット(DCK-ADAPまたはDKC-CB2)を別途ご用意ください。
また、フォーマットはDCK-ADAPに付属のフォーマッタ、または市販のフォーマッタをお使いください。

*2 本書ではSCSI/SCSI-2インターフェースとUltra SCSIインターフェースを合わせて「SCSIインターフェース」と表記しています。

接続時の注意

MOSやSCSI機器を接続する時の注意事項を、次の図の 1 ~ 4 で説明しています。必ずお読みください。



1 SCSI ケーブルとコネクタ

SCSIインターフェースの種類やUltra SCSI対応のSCSI機器を接続するかどうかによって、接続できるSCSI機器の台数と使用できるケーブルの長さに必要な制限があります。

SCSI機器の種類	SCSIインターフェースの種類	接続台数	ケーブルの長さの合計(*1)
Ultra SCSI対応の SCSI機器を含む	Ultra SCSI(*2)	1~3台	3m以下
		4~7台	1.5m以下
SCSI-2対応の SCSI機器だけ	Ultra SCSI、SCSI-2	7台まで	6m以下

*1 「ケーブルの長さの合計」には、SCSI機器の内部に配線されている部分(10~20cm程度)も含まれます。

*2 Ultra SCSI対応のSCSI機器を使用するときは、SCSI機器の台数が増えるほどSCSIケーブルの長さの合計を短くする必要があります。

SCSIケーブルは一般的なSCSI-2の標準に適合した物を使用してください。

SCSIケーブルとSCSI機器のコネクタ形状が合っているか確認してください。

付属のSCSIケーブルのコネクタは、両端ともD-subハーフピッチ50ピンです。パソコンやSCSIインターフェースボードによっては、別売の弊社製接続キットと組み合わせて接続する必要があります。

アンフェノールハーフピッチ 50ピン



D-sub ハーフピッチ 50ピン



接続に使用するSCSIケーブルの特性インピーダンス値を統一してください。特性インピーダンス値は、SCSIケーブルのパッケージやケーブル自体に印刷されています。弊社製SCSIケーブルの場合は、約90Ωに統一されています。

SCSIケーブルを接続する前に、コネクタのピンが折れたり曲がったりしていないか確認してください。

2 ターミネータ（終端抵抗）

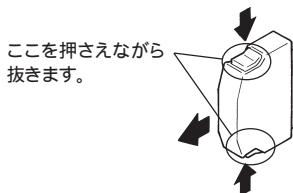
デジチェーン（*）の終端に接続するSCSI機器には、必ずターミネータを取り付けてください。ターミネータ機能を内蔵するSCSI機器を終端に接続した場合は、ターミネータ機能を有効にしてください。

内蔵SCSI機器の場合も、SCSIケーブルの終端（1台目用のコネクタ）に接続するSCSI機器は必ずターミネータ機能を有効にしてください。

* 複数のSCSI機器をケーブルで直列につないだ状態

SCSIケーブルやターミネータを取り外すときは、クランプ（2箇所）を押さえながら引き抜いてください。

SCSIケーブルやターミネータを取り付けるときは、カチッと音がするまでしっかり差し込んでください。



3 SCSI - ID

同じSCSI - IDを複数のSCSI機器に割り当てないでください。ただし、複数のSCSIインターフェースを併用しているときは、異なるSCSIバス間で同じSCSI - IDがあっても構いません。【P10「SCSI - IDの設定」】

4 システム全般

取り付け作業をするときは、必ずパソコン本体と周辺機器のマニュアルを参照してください。

取り付け作業を始める前に、必ずパソコンの電源スイッチをOFFにしてください。

大切なデータを守るため、パソコンと周辺機器の電源スイッチをOFFにする前にアプリケーションをすべて終了し、ハードディスクなどに記録されているデータを他のメディア（フロッピーディスクなど）に保存してください。

パソコンおよびMOSは精密機器です。巻頭の「安全にお使いいただくために必ずお守りください」を必ず参照してください。

取り付け作業を始める前に、次の物を用意してください。

- ・パソコンおよび周辺機器のマニュアル
- ・本製品および付属品
- ・SCSIインターフェースボード（カード）

Macintoshなど、パソコン本体にSCSIインターフェースが内蔵されている機種では不要です。

Ultra SCSIインターフェースをお使いの方へ

MOディスクにアクセスするとシステムが停止するなど動作が不安定な場合は、次の方法で回避できることがあります。

- ・Ultra SCSIインターフェースのSCSI BIOSで、MOSの同期転送を無効（非同期またはAsyc）に設定する
設定方法は、Ultra SCSIインターフェースのマニュアルを参照してください。

複数のSCSI機器を接続してシステムの動作が不安定になる場合、次の方法で回避できることがあります。

- ・Ultra SCSI対応機器（ハードディスクなど）をデジチェーンの終端、またはその近くに接続する
- ・できるだけ短いSCSIケーブルでSCSI機器を接続する
- ・接続しているSCSI機器の電源スイッチをすべてONにする

以上の作業を行っても回避できないときは、接続するSCSI機器の台数を減らしてください。

△注意 Ultra SCSIインターフェースを使用すると、データ転送速度（理論値）がSCSIインターフェースの2倍になりますが、データをやり取りするタイミングが厳密になるため、複数のSCSI機器を接続した場合に動作が不安定になることがあります。

SCSI - ID の設定

パソコンにSCSI 機器を識別させるために、各 SCSI 機器に SCSI - ID と呼ばれる番号を割り当てます。

△注意 SCSI - ID の設定は、必ず MOS の電源スイッチを OFF にしてから行ってください。

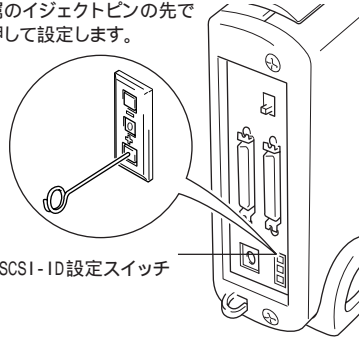
出荷時に2に設定されています。

複数の SCSI 機器と併用するときは、SCSI - ID が他の SCSI 機器と重複しないように変更してください。

SCSI - ID は 0 ~ 6 の範囲で設定してください。7 は通常 SCSI インターフェースが使用します。0 から順に 1、2、3... と連続して設定することをおすすめします。

△注意 芯が折れたり、砕けた芯の粉末が発生する鉛筆などの筆記具で、SCSI - ID の設定スイッチを押さないでください。

SCSI - ID 設定スイッチを付属のイジェクトピン先の先で押して設定します。

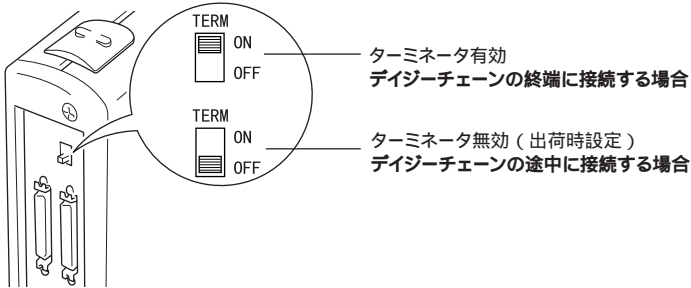


ターミネータ機能の設定

MOS だけを接続するときや、MOS をダイジェーションの終端に接続するときは、ターミネータ機能を有効にします。

出荷時は無効に設定されています。

△注意 ターミネータ機能の切り替えは、必ず MOS の電源スイッチを OFF にしてから行ってください。



MOS の設置

MOS は、縦置きでも横置きでも使用できます。

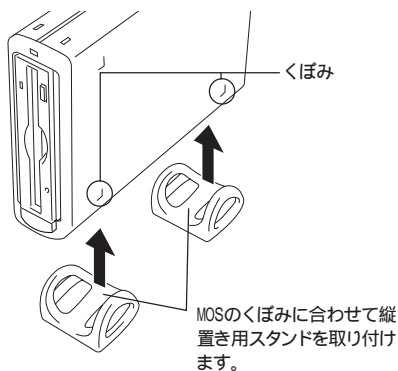
- ・ 縦置きにする場合【P11】
- ・ 横置きにする場合【P11】

△注意 動作中や MO ディスクを入れた状態で MOS を移動させたり、設置方向を変えないでください。MOS や MO ディスクの破損の原因となります。

- メモ**
- ・ 本書では、MOS を縦置きにして使用する場合を例に説明しています。
 - ・ 付属のスタックスペーサを使用すれば、横置きにした MOS や同じ形の弊社製ドライブを複数台積み重ねられます。【P14「MOS を積み重ねる場合」】

縦置きにする場合

付属の縦置き用スタンド(2個)を取り付けます。

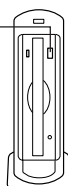


MOSの設置方向は決まっています。正しい向きで使用してください。

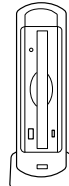
< 良い設置例 >



イジェクトボタンを右上にする



< 悪い設置例 >



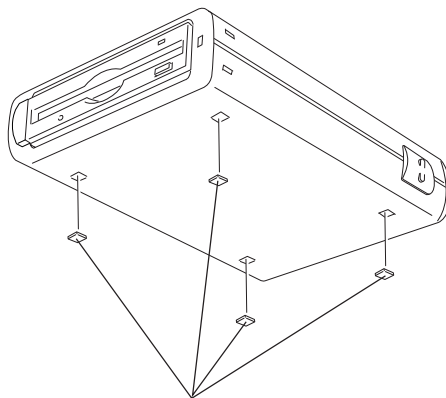
▼次へ 付属のイルミネーションパーツを取り付けます。【P12】

横置きにする場合

付属のゴム足(4個)を取り付けます。

ゴム足には両面テープが付いています。

△注意 ゴム足を付けるとスタンドが取り付けられなくなるため、MOSを縦置きできなくなります。



ゴム足をMOSのくぼみに取り付けます。

次のページへ続く

MOSの設置方向は決まっています。正しい向きで使用してください。

< 良い設置例 >

< 悪い設置例 >

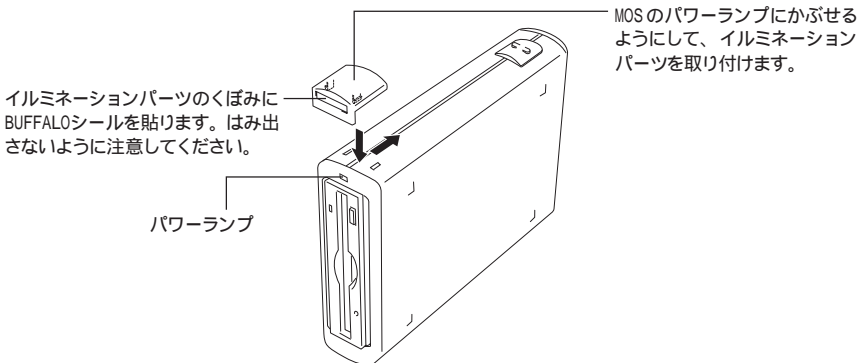


イジェクトボタンを右下にする

▶次へ 付属のイルミネーションパーツを取り付けます。【P12】

イルミネーションパーツの取り付け

好きな色のイルミネーションパーツを取り付けます。



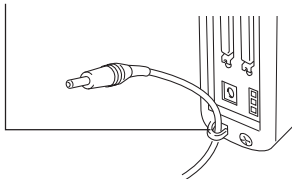
▶メモ パワーランプは、イルミネーションパーツを取り付けたときに最適な光量になるよう設計されています。イルミネーションパーツは必ず取り付けてください。

▶次へ 付属のACアダプタを取り付けます。【P12】

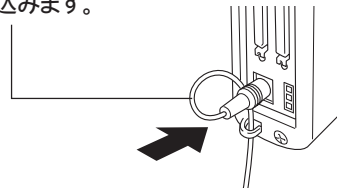
AC アダプタの取り付け

ACアダプタをMOSに接続します。

ACアダプタのケーブルをフックに引っかけます。



図のようにケーブルを巻き、ACアダプタのプラグをMOSに差し込みます。



▶次へ MOSとパソコンを接続します。【P13】

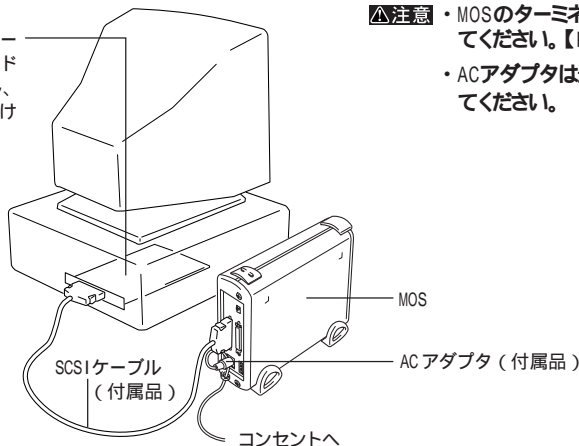
パソコンとの接続のしかた

△注意 パソコンと周辺機器の電源スイッチをすべてOFFにしてから行ってください。

MOSだけを接続する

MOSをデスクトップパソコンに接続する例を説明します。

SCSI インターフェイスボードを別途用意し、事前に取り付けてください。



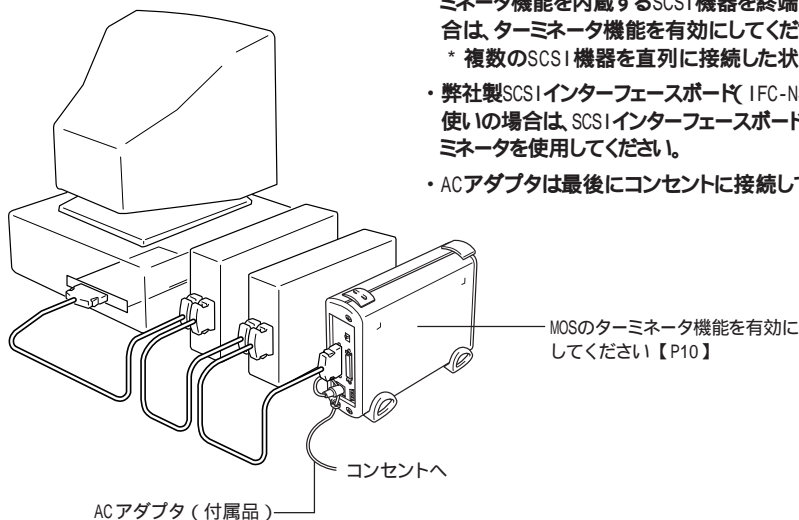
- △注意**
- ・MOSのターミネータ機能を必ず有効にしてください。【P10】
 - ・ACアダプタは最後にコンセントに接続してください。

複数の SCSI 機器を接続する

MOSをデジチェーンの終端に接続する例を説明します。

- △注意**
- ・デジチェーン(＊)の終端に接続したSCSI機器には、必ずターミネータ(別売品)を取り付けてください。ターミネータ機能を内蔵するSCSI機器を終端に接続する場合は、ターミネータ機能を有効にしてください。
 - ＊ 複数のSCSI機器を直列に接続した状態

- ・弊社製SCSIインターフェイスボード(IFC-NSPを除く)をお使いの場合は、SCSIインターフェイスボードに付属のターミネータを使用してください。
- ・ACアダプタは最後にコンセントに接続してください。



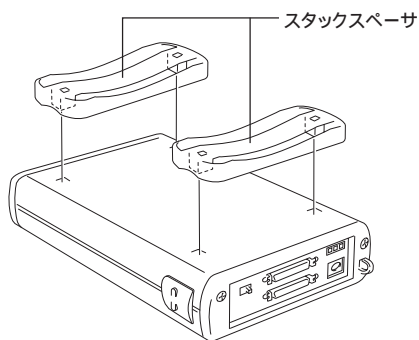
MOS を積み重ねる場合

付属のスタックスペーサを使用して、横置きにしたMOSを合計3台まで積み重ねることができます。

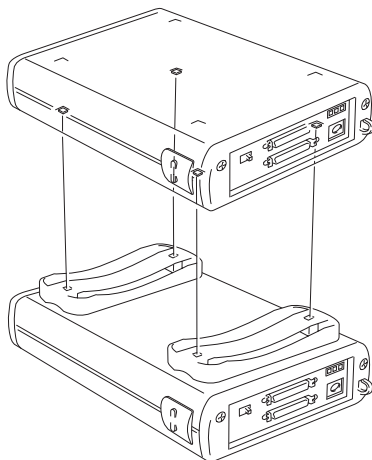
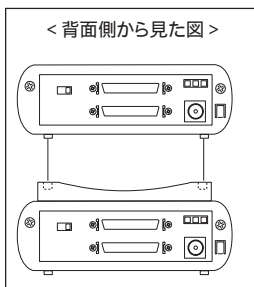
△注意 合計4台以上積み重ねないでください。積み重ねたMOSが倒れやすくなります。倒れた場合、衝撃により故障するおそれがあります。

1 積み重ねるすべてのドライブ底面のくぼみに、ゴム足(4個)を取り付けます。
【P11「横置きにする場合」】

2 ドライブ上面のくぼみに合わせてスタックスペーサ(2個)を載せます。



3 上に重なるドライブのゴム足をスタックスペーサのくぼみに合わせて載せます。



☒メモ 弊社製DiF-GTシリーズ、DUB-GTシリーズ、DSC-GTシリーズ、MOiFシリーズも積み重ねられます。
弊社製MOU-Rシリーズは積み重ねられません。

使用時の注意

電源スイッチをONにするときは、必ず周辺機器 (MOS含む) パソコンの順でONにしてください。

電源スイッチをOFFにするときは、必ずパソコン周辺機器 (MOS含む) の順でOFFにしてください。

MOディスクの初期化について

MOディスクは、使用する前に初期化(フォーマット)する必要があります。本製品にはMOディスクをフォーマットするためのプログラムが添付されています。

使用できるフォーマットプログラムはMOディスクの利用形態により異なります。詳細は、別冊「MOS シリーズセットアップマニュアル」を参照してください。

Macintosh の場合は、弊社製接続キット (DCK-ADAP) に付属のフォーマッタまたは市販のフォーマッタをインストールしてください。詳細は、フォーマッタに付属のマニュアルを参照してください。

MOSのアクセスランプが点灯しているときは、パソコンからアクセスしないでください。

MOSの準備ができていないため、アクセスエラーが発生します。

Windows95でMOディスクにバックアップするときの注意

Windows95付属のバックアップツールを使用してMOディスクにバックアップするとき、バックアップするデータの総容量がMOディスクの容量を超えないようにしてください。MOディスクの容量を超えたデータはバックアップできません(これは、バックアップツールの仕様によるものです)。

MOディスクにラベルを貼るときは、指定の位置からはみ出さないようにしてください。

MOS内でラベルがはがれると、MOディスクが取り出せなくなることがあります。

取り出せなくなったときは無理に取り出そうとせず、そのまま弊社修理センターまで修理をご依頼ください。【P21】

MOディスクにアクセスしているとき(アクセスランプが点灯しているとき)は、絶対にイジェクトボタンを押さないでください。

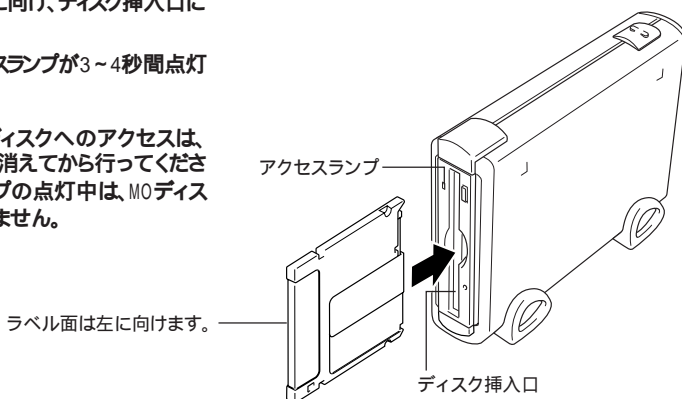
MOディスク内のデータが破損するおそれがあります。

MO ディスクの挿入

MOディスクのラベル面を左に向け、ディスク挿入口に挿入します。

正しく挿入されると、アクセスランプが3~4秒間点灯します。

△注意 パソコンからMOディスクへのアクセスは、アクセスランプが消えてから行ってください。アクセスランプの点灯中は、MOディスクにアクセスできません。



MO ディスクの取り出し

< Windows搭載パソコンの場合 >

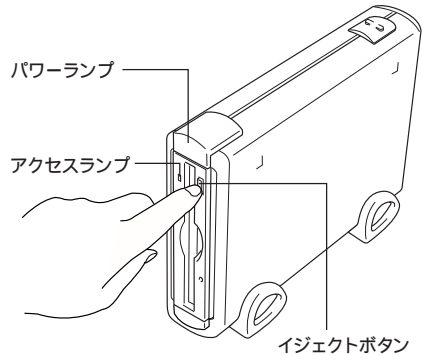
MOSのアクセスランプが消えていることを確認し、イジェクトボタンを押します。

MOディスクが2～3cm出てきたら手で取り出します。

< Macintoshの場合 >

デスクトップにあるMOディスクのアイコンを工具箱にドラッグ&ドロップすれば、MOディスクが排出されます。MOSのイジェクトボタンは通常使用しません。

MOディスクが2～3cm出てきたら手で取り出します。

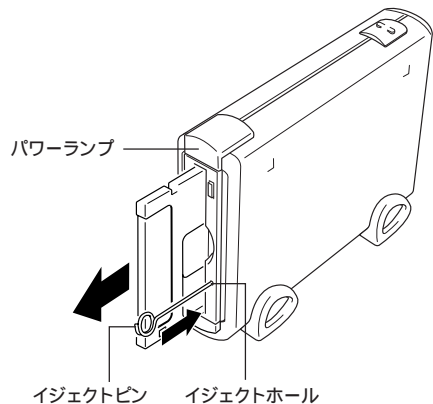


- △注意**
- MOディスクにアクセスしているとき(アクセスランプが点滅しているとき)は、絶対にイジェクトボタンを押さないでください。MOディスク内のデータが破損するおそれがあります。
 - パワーランプが点灯していないときは、イジェクトボタンを押してもMOディスクは排出されません。ケーブルの接続を確認し、パソコンの電源スイッチをONにしてMOSのパワーランプが点灯してから、イジェクトボタンを押してください。それでもMOディスクを取り出せないときは、「MOディスクが取り出せないとき」【P16】を参照して、強制的にMOディスクを取り出してください。

MO ディスクが取り出せないとき

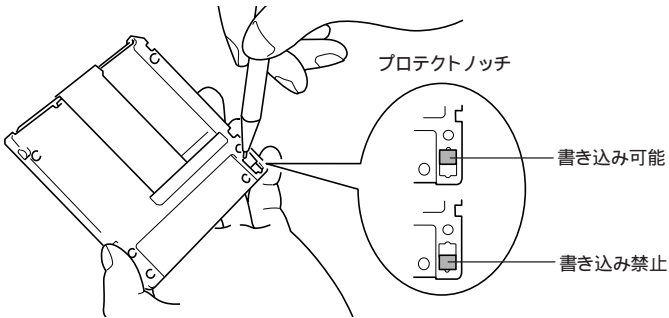
パワーランプが消灯しているときは、イジェクトボタンを押してもMOディスクを排出できません。その場合は、付属のイジェクトピンをイジェクトホールに差し込み、強制的にMOディスクを排出してください。

- △注意** この操作は、必ずパソコン本体の電源スイッチをOFFにしてから行ってください。



MO ディスクを書き込み禁止にするとき

MOディスクに記録したデータを誤って消去してしまわないように、MOディスクへの書き込みを禁止できます。ボールペンなどを使って、MOディスクの背面にある「プロテクトノッチ」を書き込み禁止の位置に移動させてください。再度データを書き込むときは、プロテクトノッチを書き込み許可の位置に移動させます。



製品仕様

製品型番	MOS-S640R			
インターフェース	SCSI/SCSI-2 (シングルエンド) (*1)			
SCSIコネクタ	D-subハーフピッチ50ピン			
ディスク	3.5型光磁気ディスクカートリッジ (ISO規格)			
記憶容量	128MB	230MB	540MB	640MB
ダイレクトオーバーライト方式	対応 (オーバーライト対応M0ディスク使用時)			
ディスク回転数	5150rpm		4800rpm	
平均回転待ち時間	5.8msec		6.3msec	
平均シークタイム	28msec			
最大転送速度	10MB/sec			
ターミネータ機能	内蔵 (出荷時設定: 無効)			
SCSI-ID	0~7 (*2) の範囲で設定可能 (出荷時設定: 2)			
外部ターミネータへの電源供給	供給する			
バッファメモリ容量	2MB			
外形寸法	44 (W)×122(H)×216 (D) mm			
消費電力 (リードライト時)	7W			
電源	AC100V 50/60Hz			
動作環境	温度	5~35		
	湿度	20~80% (結露無きこと)		
対応パソコン機種	<ul style="list-style-type: none"> ・DOS/V機 (OADG仕様) (*3) ・NEC PC98-NXシリーズ (*3) ・NEC PC-9821/9801シリーズ (*3) ・Apple Macintosh、PowerBookシリーズ (iMacを除く) ・PC Card Type スロット搭載ノートパソコン (*3) 			
対応OS	DOS/V機	WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/NT3.51/3.1 MS-DOS 6.2/V以降、PC DOS J6.3/V以降		
	PC98-NX	WindowsMe/98/95/2000/NT4.0		
	PC-9821/9801	Windows98/95/2000/NT4.0/NT3.51/3.1 MS-DOS 5.0A-H以降		
	Macintosh	漢字Talk7.5以降、Mac OS7.6以降		

*1 本製品はUltra SCSI インターフェースに接続しても使用できますが、その場合の最大転送速度は10MB/sec(理論値)となります。

*2 7(SCSI-ID)は通常SCSIインターフェースが使用しています。

*3 弊社製SCSIインターフェースと併用してください。

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ (<http://www.melcoinc.co.jp/>)をご参照ください。

保証書について

本製品付属の保証書には保証期間と保証規定が記載されています。内容をお確かめになり、大切に保管してください。

ユーザー登録について

ユーザー登録はかきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとして登録いたします。

本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。

ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても症状が改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要事項をご記入の上、製品と一緒に送りください。修理票は、弊社ホームページ（本書裏表紙参照）にてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

返送先 [氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]

平日昼間の連絡先

[氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]

修理対象のメルコ製品名

弊社製品ハードウェア シリアルナンバー

弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー

具体的な症状/エラーメッセージ

発生状況 [始めから/ある日突然/環境を変えたら]

発生頻度 [必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他]

コンピュータ [本体メーカー名/型番/シリアルナンバー]

ハードディスク [メーカー名/型番/シリアルナンバー]

ディスプレイ [メーカー名/型番/シリアルナンバー]

その他周辺機器 [メーカー名/型番/シリアルナンバー]

OS(オペレーティング・システム)

[ソフト名/メーカー名/バージョン]

製品以外の添付品 [付属ソフトなど]

製品送付先 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15

株式会社メルコ 修理センター宛

電話番号 052-619-1289

ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンター（裏表紙に記載）へお願いします。

宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。

送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。

ハードディスクをお送りいただいた場合、そのハードディスクはフォーマットいたします。必要なデータは事前にバックアップを作成しておいてください。

修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

本製品について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について

ラジオやテレビジョン受信機（以下、テレビ）などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われる場合は、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。

- ・ 本機と、ラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる
- ・ 本機と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる
- ・ この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる

MOS-S640R ハードウェアマニュアル

2000年10月20日 第2版発行

発行 株式会社メルコ

弊社製品の情報は次の方法で入手できます



インター
ネット

<http://www.melcoinc.co.jp/>



@nifty

MELCO Station < GO SMELCO >



製品
サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ストレージ製品専用ダイヤル

<東 京> 03-5350-7990

月～金 9:30～12:00/13:00～19:00 祝日を除く

土/祝 9:30～12:00/13:00～17:00 日曜日を除く

<名古屋> 052-619-1188

月～金 9:30～12:00/13:00～17:00 祝日を除く

事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。

- ・コンピュータ名と使用OS
- ・本製品の製品名とシリアルナンバー
- ・設定内容（スイッチ設定など）
- ・現象（具体的なエラーメッセージなど）